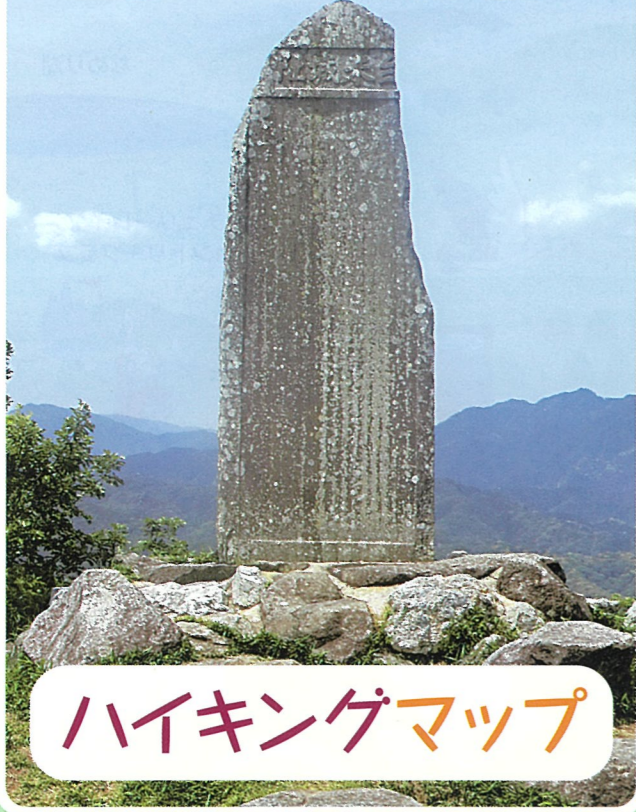


白米城跡



ハイキングマップ

このハイキングマップは平成26年度
松阪市地域の元気応援事業による交付金
と株サイネックスからの地域づくり
スポンサー賞により作成しました。



阿坂まちづくり協議会
事務局 ☎58-2645
(阿坂地区市民センター内)
豊地まちづくり協議会
事務局 ☎42-4253
(豊地公民館内)

白米城の歴史由来

白米城のいわれ

応永22(1415)年のこと、将軍足利義満は、幕府に従わない北畠氏を攻撃しようと、大軍を送り攻めてきた。当主の北畠満雅は、阿坂城に立てこもり迎え撃ったが、その時のこととして以下の話が残っている。

幕府の大軍は阿坂城をとり囲んだが、北畠軍は山上の地形を利用し守りを固くして、攻めても攻めても幕府軍の兵隊が傷つくばかりでなかなか落とせない。それで幕府軍は、山上の城ならいづれ水がなくなると考え、取り囲んだまま城内の水がなくなるのを待つ作戦に変えた。

北畠軍は、水がどんどん減っていったため、幕府軍の目に付きやすい城内の高台に馬を引き出し、馬の背に白米をかけて洗っているように見せたのだ。それが幕府軍からは、まるで馬の背から水がしたたり落ちるように見え、城内にはまだ豊富に水があると幕府軍は考え、水断ちの作戦をあきらめ、城の囲みを解いたと伝えられている。

ここから阿坂城は、俗に「白米城」と呼ばれるようになった。

表紙の石碑は、大正10.3.29建立され、この日を白米城記念日として神事を取り行っています。

浄眼寺の歴史

北畠と浄眼寺 文明18(1486)

伊勢国司 北畠政郷(政勝)・大阿坂村に7堂伽藍を建て僧大空玄虎を招き寺領を寄進し、正法山浄眼寺を開基し、北畠氏の菩提寺とする。(曹洞宗)

政郷は後の無外逸方で寿象は、H21年三重県文化財に指定、尚、現在の本堂、禅堂総門は宝暦年間(1751～1764)に再興されたものである。

阿坂地区の特色

阿坂地区は、歴史的な遺跡も多く、白米城を背に豊かな田園地帯が広がり、遠くは伊勢湾を一望できる風光明媚で自然豊かな地区です。



あかな 赤菜

豊地地区の特色

白米城を南に仰ぎ、清流中村川を中心に南北に広がる豊かな農村地として、米、びわ、トマト、みかん、酒など自慢の特産品が多く生産される、自然豊かな地区です。



白米城の樹木・山野草

樹木



ウリカエテ



コナラ



シロダモ



タブノキ



ツブラジイ



ネジキ



ヒサカキ



モチツツジ



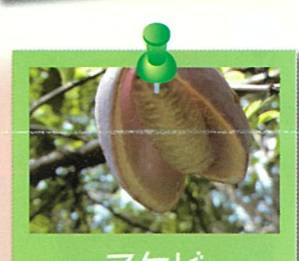
リョウブ



ヒメシャラ



イタドリ



アケビ



クズ



サルトリイバラ

イタドリ(タデ科)
根茎(秋～冬)緩下剤・むくみとり
妊婦はダメ!

アケビ(アケビ科)
つる(晩秋採取)膀胱炎・尿道炎
色々な漢方薬に入っている。
アケビの果実の肉炒め・天ぷら 美味!

クズ(マメ科)
根 風邪・神経痛
葛根湯に入っている

サルトリイバラ(ユリ科)
根茎 きび・できもの
いばらまんじゅうの葉

山野草



ジャノヒゲ



ゼンマイ



ナワシログミ

ジャノヒゲ(ユリ科)
根 せき・たん・滋養強壮
漢方 麦門冬湯に入っている。
昔の兵隊さんの兵糧食

ゼンマイ(ゼンマイ科)
根茎 むくみ・貧血
干したゼンマイの味噌汁を
食べるとお乳の出が良くなる。

ナワシログミ(グミ科)
果実 4～5月
下痢止め・咳止め



ハナイカダ



ヤマノイモ



アオキ



アカネ

ハナイカダ(ミズキ科)
花 4～6月 果実つきの葉 下痢止め
実 9月頃 食べられる。

ヤマノイモ(ヤマノイモ科)
根 強壮・強精
色々な漢方薬に入っている。
ヤマノイモ酒

アオキ(ミズキ科)
葉 やけど・しもやけに外用
胃腸薬として有名な陀羅尼助、百草丸に
キハダの樹皮と一緒に入っている。

アカネ(アカネ科)
秋 根を掘る 出血・むくみ・生理不順
アカネ酒 強壮薬 アカネ染

白米城 ハイキングコースMAP

至伊勢・尾鷲



ハイキングコース	
約 40分	浄眼寺コース
約 55分	嬉野薬王寺コース
約 35分	大阿坂コース



薬王堂病院

細い道

回り道

至名古屋

嬉野 P.A